

弥彦村健康づくり計画

評価指標達成状況からの現状・課題と今後の取り組み(平成 29 年度計画)

領域	現状・課題	今後の取り組み
栄養 ・ 食生活	肥満の者の割合が男女とも高く、目標値に達していない。 特に女性の肥満は増えてきており、県平均と比較しても高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診会場での保健指導、栄養指導の継続、強化 ・ 小学校での食育事業等を通して、若い世代にバランスのとれた食事や生活習慣病予防の知識の普及啓発を行う ・ 食生活改善推進委員や保健委員などのリーダーの地域活動の中で、生活習慣病予防の知識の普及啓発を行えるような体制づくりや支援 ・ 広報、ホームページにバランスのとれた食事の重要性、体重測定等の自己管理について掲載
身体活動 ・ 運動	運動習慣のある人の割合が、目標値には達してはいるが、 県平均と比較して低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動教室の継続(有酸素運動教室、からだスッキリ教室等) ・ 血管いきいき講座や健康相談等の生活習慣病予防事業参加者が、運動教室につながるような働きかけ ・ 各地区のサロンや健康相談で運動体験等の内容を実施 ・ 広報、ホームページに運動の必要性や運動教室についての情報を掲載
休養 ・ こころの健康	<p>多量飲酒者の割合が、目標値は達しているが、県平均と比較すると男女とも高い。</p> <p>自殺率は H25 年で下がったが、その年によりばらつきがあり、数年で平均すると県平均と比較し高い状況は変わらない。また、ここ数年は、若い年代や働き盛りの自殺が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報、ホームページに働き盛りのこころの健康やストレス対処法についてや、相談先一覧を掲載。また、がん検診等の機会に相談先資料を配布し、周知を図る。 ・ 成人式で、こころの健康や相談先を掲載した資料の配布 ・ こころの見守りサポーターの育成、フォローアップ研修 ・ こころの相談の開催を年 10 回から年 12 回へ増やす ・ 自殺対策強化月間(国 3 月、県 9 月)にあわせて、休養やこころの健康についての知識を普及啓発

領域	現状・課題	今後の取り組み
たばこ ・ アルコール	<p>男性の喫煙率は徐々に低下してきており、目標値を達成しているが、女性は目標値を達成しておらず、県平均と比較しても高い。</p> <p>毎日飲酒する人の割合が目標値に達しておらず、県平均と比較しても高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ たばこの害について医師による講演会を実施。今後は中学校との連携を強化し、若年者への働きかけを強化 ・ マタニティスクールや乳幼児健診等で受動喫煙防止や禁煙を働きかける ・ 特定健診時にたばこやアルコールの知識についてパネルやポスター等で普及啓発 ・ 公共施設の施設内禁煙の完全実施と、敷地内禁煙をすすめていく ・ 広報、ホームページにたばこの害やCOPD、アルコールの害の知識、弥彦村の現状について掲載
生活習慣病	<p>特定健診受診率は県平均と比較し高いが、目標値には達していない。</p> <p>特定健診保健指導実施率は県平均と比較して低く、目標値に達していない。</p> <p>血糖有所見者の割合が、徐々に減ってきてはいるが、県平均と比較して高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受診率の低い60～64歳の未受診者に訪問し、受診勧奨 ・ がん検診と同時に受けられる半日ドックを継続 ・ 若年者への働きかけとして、国保25～39歳の方へ受診票送付を継続 ・ 健診会場での保健指導や栄養指導を継続し、さらに家庭訪問、血管いきいき講座、健康相談等へつなげ、支援していく ・ 国保40歳の方に訪問し、健診受診勧奨
がん	<p>がん検診受診率は胃がん検診を除き目標値を達成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診とがん検診が同時に受けられる半日ドックを実施。土曜日、男性限定日、女性限定日を継続 ・ 特定健診未受診者に対して、胃・大腸がん検診も受診勧奨 ・ 肺がん検診の未受診者検診の継続 ・ 子宮がん、乳がん検診無料クーポンを継続